受付番号:　202300163

『ロキサデュスタットが透析患者の甲状腺機能に与える短期的影響』に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	近年、腎性貧血に対してロキサデュスタットを始めとしたHIF-PH阻害薬の有効性が報告されている。ロキサデュスタットでは発生頻度は不明ですが、甲状腺機能低下症が指摘されています。ロキサデュスタットが透析患者の甲状腺機能にあたる短期的影響について検討することでロキサデヒュスタット使用による安全性や効果、副作用に関して検討します。
研究の方法	西暦2021年1月1日～2023年7月30日の間に、当院でロキサデュスタットを導入した入院および外来の血液透析患者さんのカルテの情報を検索し、統計処理を行います。
対象者	西暦2021年1月1日～2023年7月30日の間に、当院でロキサデュスタットを導入した血液透析患者さん
利用する試料/情報	研究対象者背景：病名、性別、年齢、入院・外来、透析導入日、合併症、既往歴、現病歴、前治療（開始前EAS製剤投与量）、治療（ロキサデュスタット投与量） 末梢血算：ヘモグロビン、血小板 血液生化学：TSH、FT3、FT4、フェリチン、TSAT、CRP
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院　院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独
試料/情報の院外提供	「該当なし」
結果公表	論文投稿予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、 西暦2024年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院　腎臓内科/医員/山田　英行
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院　腎臓内科/山田英行